


警告

電子燃料噴射装置への損傷を避けるため、イグニッションスイッチが「」位置にある状態で、バッテリーを取り外したり、取り付けたりしないでください。

本車両を長期間放置すると、ガソリンやエンジンオイルが劣化し、始動できない状況に陥る可能性があります。

ほこりの多い環境や、速い速度での乗車、スタートや停止の多用、極端な乗車習慣などの苛酷な条件下で運転する場合は、こまめに点検してください。

乾燥した草や葉などの可燃物から遠ざけてください。車両を駐車するときは、排気管やマフラーに可燃物が接触しないようにしてください。

本取扱説明書をよくお読みください

本取扱説明書には、**KYMCO X-Town CT125/250/300**の安全性、操作、メンテナンスに関する重要な情報が含まれています。乗車する前に、乗車するすべての人が、本取扱説明書の内容を注意深く読み、理解するようにしてください。個人の安全のために、本取扱説明書に含まれているすべての警告と車両に貼られているラベルを理解してそれに従ってください。本取扱説明書は、車両の永久的な一部とみなし、スクーターと共に保管するようにしてください。本スクーターは、オンロードでのみ使用してください。

本取扱説明書では、特に重要な情報には、次の記号および信号語が付記されています。



安全アラート記号は注意！を意味します。警告！安全に影響を及ぼす可能性あり、を意味しています。



これらの指示を遵守しないと、重傷または死亡につながる可能性があります。



これらの指示は、損傷を防止するために従う必要のある特別な注意事項を示しています。



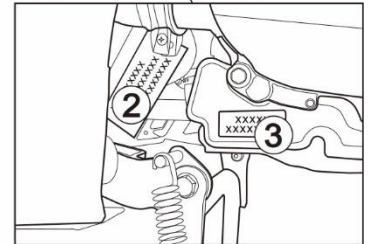
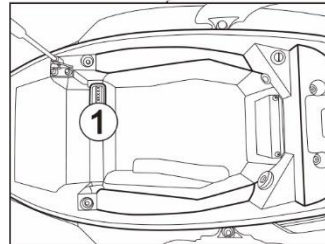
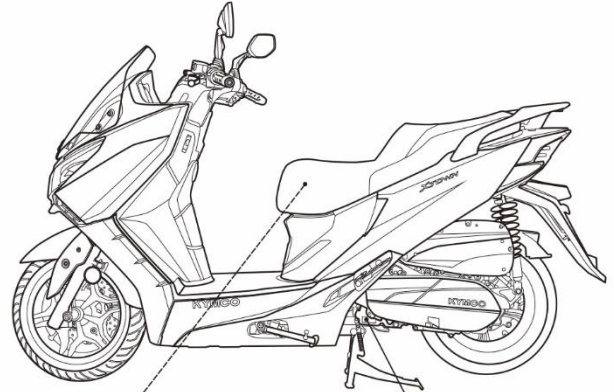
注記は追加の重要な情報を示しています。

識別番号の記録

車両識別番号 (VIN)

エンジンシリアル番号 (ESN)

KYMCO 認定販売店から部品を注文する際、または車両が盗まれた場合の参照用に、上記の空欄に車両識別番号①または②、エンジンシリアル番号③を記録してください。



目次

第1章 - 安全上のご注意	1	エンジンオイル	36
前書	1	エンジンオイルの交換	38
スクーターの安全性	2	エンジンオイルフィルターの交換	39
アクセサリ&改良	4	トランスミッションフルードの交換	42
パーツ&制御装置の位置	5	エアクリーナーフィルターエレメント	42
第2章 - 制御および機能	8	スロットルの作動	42
イグニッションスイッチ	8	スパークプラグ	43
セキュリティシャッター	9	ブレーキ液レベルの点検	44
計器	10	ブレーキレバーアジャスター	45
USB電源	16	ブレーキパッドの検査	46
右ハンドルバースイッチ	17	バッテリー	47
左ハンドルバースイッチ	18	ヒューズ	48
推奨ガソリン	19	タイヤ	49
シート	20	クーラント	51
サスペンション	23	クランクケースブローバイドレイン	53
サイドスタンド	24	フロントガラスとプラチック製部品を清掃する	53
第3章 - 運転	25	保管	54
乗車前の点検	25	排出制御	55
慣らし走行	26	仕様	56
エンジンの始動	27		
ABSシステム (オプション)	29		
第4章 - メンテナンス	30		
メンテナンススケジュール	31		

第1章 - 前書きおよび安全上のご注意

KYMCO X-Town CT125/250/300をご購入いただきありがとうございます。また、KYMCOファミリーにご参加いただきありがとうございます。乗車する前に、制御装置の正しい操作方法、特徴、機能および制限について十分にご理解いただくため、本取扱説明書をご一読ください。

本車両を問題なく末永くご利用いただくため、本取扱説明書の記載に従って、適切なお手入れとメンテナンスを行ってください。

交換用パーツやアクセサリには、正規のKYMCO製品を常に使用してください。お客様の車両用に特別に設計及び製造されたもので、基準を満たしています。本取扱説明書は常にオートバイと共に保管し、情報が必要な時にいつでも参照できるようにしてください。本取扱説明書は車両の永久的な一部とみなし、売却時には車両に本取扱説明書を付属するようにしてください。

本マニュアルに記載されているすべての情報、イラスト、写真、および仕様は、出版時に入手可能な最新の製品情報に基づいたものです。改良やその他の変更により、実際の車両と若干異なる場合があります。KYMCOは、通知することなく、またいかなる義務も伴わずに、いつでも製品や出版物を変更できる権利を留保します。

スクーターの安全性

重要な安全に関する情報

安全に対する自己責任を持ち、路上で直面する可能性のある問題について理解しておくことで、耐用年数を延ばすことができ、長年に渡りご使用いただけます。自分自身を守るためにできることはたくさんあります。本取扱説明書の本章では、多くの有用な推奨事項といくつかの非常に重要なヒントを説明します。

ヘルメットを着用する

安全装備は高品質ヘルメットから始まります。交通事故で負う最も深刻な怪我の1つは頭部の怪我です。適切な承認されたヘルメットを常に着用してください。また、適切な目の保護具を着用してください。

人の目に留まりやすくする

自分の姿を見えやすくするため、反射性の明るい衣服を着用し、他のドライバーが目で明らかに確認できる位置に来るようにしてください。曲がる時や車線を変更する時には合図を送りましょう。また、他の人に気づいてもらうために有効な場合はクラクションを鳴らしてください。

自分自身の限界を知る

常に個人的なスキルの範囲内で乗車してください。これらの限界を知り、その範囲内に留まることが事故防止に役立ちます。

車両を安全な状態に保つ

安全に乗車するために、毎回乗車する前に車両を点検し、推奨されるすべてのメンテナンスを実施することが大切です。荷重制限を超過しないようにしてください。また、承認された付属品を使用してください。

乗車前に車両を検査する

乗車する前に、すべてのライダーの安全性を確実なものにするため、毎回すべての安全点検を必ず行うようにしてください。

悪天候の日には特に注意する

悪天候の日に乗車する場合、特に濡れているときは、さらに注意を払ってください。雨の日には制動距離が長くなります。特に滑りやすくなっている場合があるため、塗装された表面、マンホールカバー、舗道が油で汚れているように見えるエリアは避けてください。踏切の上、または金属面の上にいるときは、特に注意してください。道路の状況が疑わしい場合は、常に速度を落とすようにしてください。

改良

車両を改造したり、正規の備品を取り外すと、車両から安全性が失われたり、違法となったりする可能性があります。当局からの機器に関連するすべての規制を遵守してください。

スクーターの安全性

防護服

安全のため、乗車する時には、認可されているオートバイまたはスクーター用のヘルメット、目の保護具、ブーツ、手袋、長ズボン、および長袖シャツまたはジャケットを着用してください。

ヘルメットと保護

頭部の損傷を防ぐために最も有効なヘルメットは、最も重要な装備です。ヘルメットはしっかりと快適に頭部に着用できるものである必要があります。目を保護して視界を妨げないようにするため、フェイスシールドまたはゴーグルを常に着用してください。

その他のライディング用装備

頭部と目の保護具以外にも、次を利用することができます。

足と足首を保護するために役立つ、靴底が滑り止めになった頑丈なブーツ。

手を温かく保ち、まめや切り傷、やけど、打撲から保護するための革製手袋。

モーターサイクルスーツは、快適性と保護を実現するために設計されています。明るい色の反射ストライプを使用することで、周囲の車両や人から気づいてもらいやすくすることができます。車両のパーツに引っかかる恐れのある、ゆったりした衣服は避けるようにし

てください。

推奨されるライディング用装備：

- ① 手袋を着用すること
- ② 体にフィットする衣服を着用すること
- ③ ヘルメットと目の保護具を常に着用すること
- ④ 明るいあるいは反射性の衣服を着用すること
- ⑤ 靴は適切なサイズで、ヒールが低く、足首を保護するものを選ぶこと。

警告

- ヘルメットを着用しなかった場合、事故で重傷を負ったり死亡したりする可能性が高くなります。
- ライダーとパッセンジャーは、適切にフィットする認可されたオートバイ用のヘルメットを常に着用するようにしてください。乗車中は、目の保護具やその他の保護衣服も着用するようにしてください。

アクセサリ & 改良

KYMCO車両をご購入いただくと、豊富な種類のアクセサリをご利用いただけます。ライダーが購入を希望する可能性のあるアクセサリの品質やその適合性は、KYMCOが直接管理できるものではありません。不適切なアクセサリを追加することで、危険な運転状況につながる可能性があります。市場で販売されているすべてのアクセサリや、入手可能なすべてのアクセサリの組み合わせをKYMCOがテストすることは不可能です。しかしながら、KYMCOディーラーでは、高品質アクセサリの選択やそれらの適切な取り付けに対してサポートを提供しています。

アクセサリの選択や取り付けには、十分な注意が必要です。

改造しないでください：

KYMCOでは、正規の備品の取り外しや、車両のデザインや操作を変更するような改造はしないよう強く推奨しています。



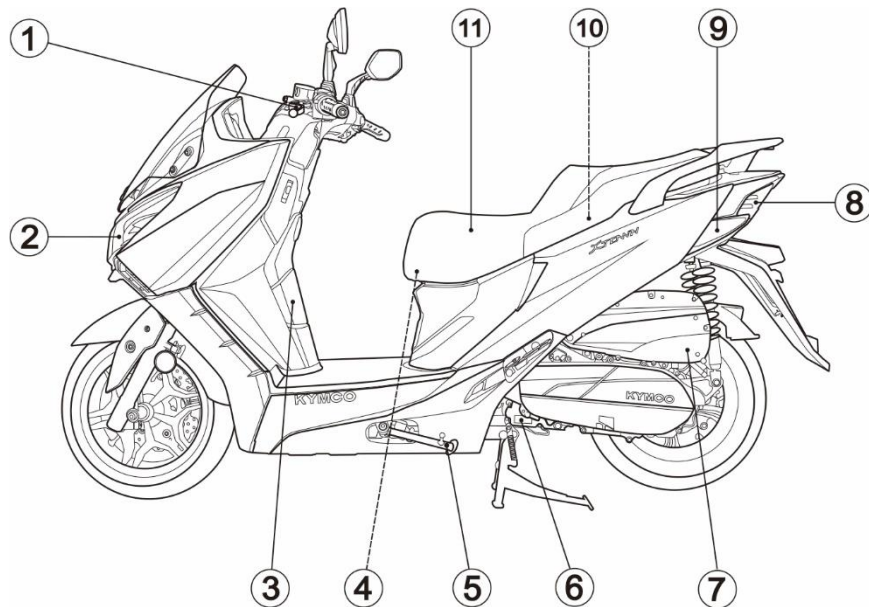
警告

不適切なアクセサリや改造は、車両を危険にさらす可能性があり、事故につながる場合があります。

不適切な取り付けやアクセサリを使用して、車両を改造することは絶対にしないでください。本車両に追加するパーツやアクセサリはすべて、純正のKYMCO部品またはそれに相当する本車両用に設計された部品を使うようにしてください。また、正しい指示に従って取り付け、使用するようにしてください。ご質問がある場合は、KYMCO認定販売店にお問い合わせください。

パーツ & 制御装置の位置

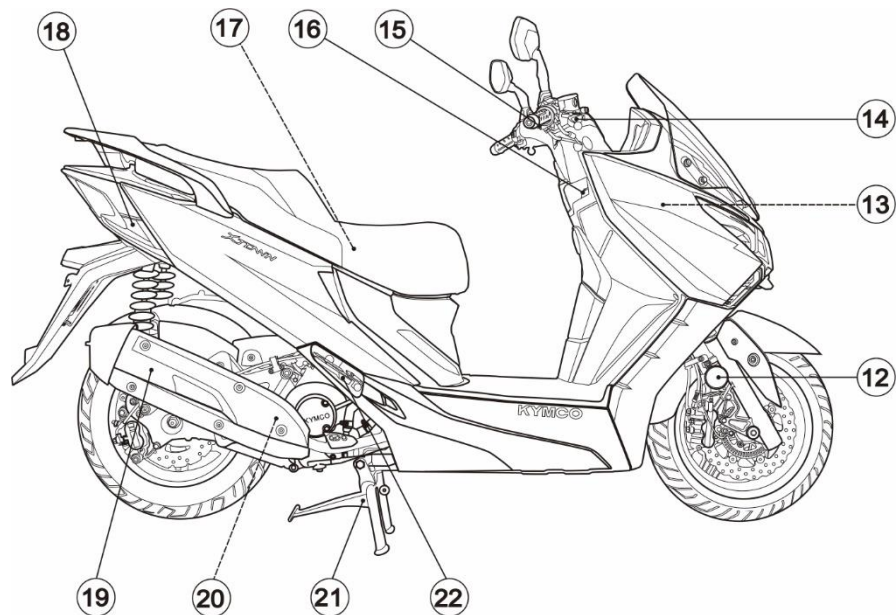
- ① リアブレーキレバー
- ② ヘッドライト
- ③ フィラーキャップ
- ④ ヘルメットフック
- ⑤ サイドスタンド (遮断機能付き)
- ⑥ エンジン番号
- ⑦ エアクリナー
- ⑧ 尾灯・ブレーキライト
- ⑨ リア左ウィンカーライト
- ⑩ ラゲージボックス
- ⑪ シート



■ 注記：お客様のスクーターの外見は、本マニュアルに記載されている画像と若干異なる場合があります。

パーツ & 制御装置の位置

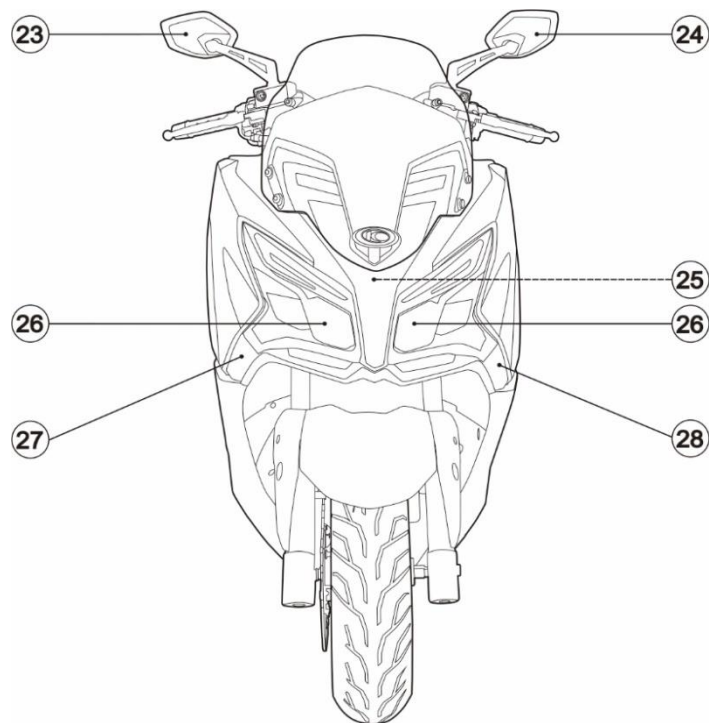
- ⑫ リフレクター
- ⑬ メインクーラントタンクフィルター
- ⑭ フロントブレーキレバー
- ⑮ 電動スターターボタン
- ⑯ イグニッションスイッチ
- ⑰ 車両識別番号 (VIN)
- ⑱ リア右ウィンカーライト
- ⑲ マフラー
- ⑳ オイルフィルターキャップ/
オイルケージ
- ㉑ センタースタンド
- ㉒ フリップフットペグ



■ 注記：お客様のスクーターの外見は、本マニュアルに記載されている画像と若干異なる場合があります。

パーツ & 制御装置の位置

- ②③ 右バックミラー
- ②④ 左バックミラー
- ②⑤ バッテリー
- ②⑥ ヘッドライト
- ②⑦ フロント右ウィンカーライト
- ②⑧ フロント左ウィンカーライト



■ 注記：お客様のスクーターの外見は、本マニュアルに記載されている画像と若干異なる場合があります。

第2章 - 制御および機能

イグニッションスイッチ

点火スイッチとその機能を操作します。


「」位置の場合：

すべての電気回路はオフになっています。エンジンはスタートも稼働もしません。







「」位置の場合：

点火回路が「オン」になっており、エンジンをスタートすることができます。この位置にある場合、点火スイッチからキーを外すことはできません。

「」位置の場合：




ステアリングをロックするには、ハンドルバーを左いっぱい
に回し、キーを「」の位置まで回して押し下げてからキーを抜きます。すべての電気回路はオフになっています。

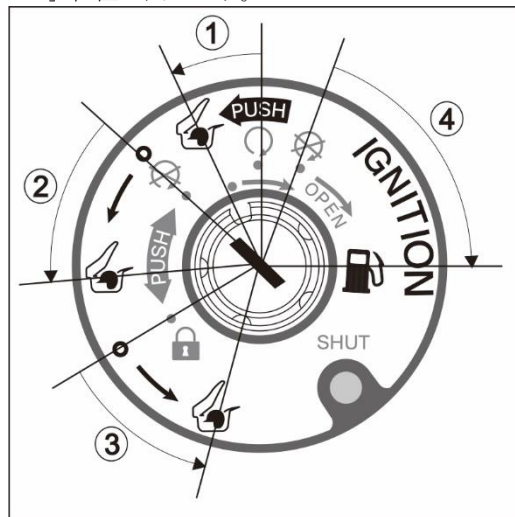
「」位置の場合：

- ① イグニッションキーが「」位置にある場合は（エンジンが稼働している時）、キーを押し入れて、反時計回りに「」から「」位置に回します。
- ② イグニッションキーが「」位置にある場合は（エンジンが稼働していない時）、反時計回りに「」から「」位置に回します。

- ③ イグニッションキーが「」位置にある場合、反時計回りに「」から「」位置に回します。

「」位置の場合：

- ④ イグニッションキーが「」位置にある場合は（エンジンが稼働していない時）、反時計回りに「」から「」位置に回します。



制御および機能

セキュリティシャッター

点火スイッチのセキュリティシャッターを開く方法：

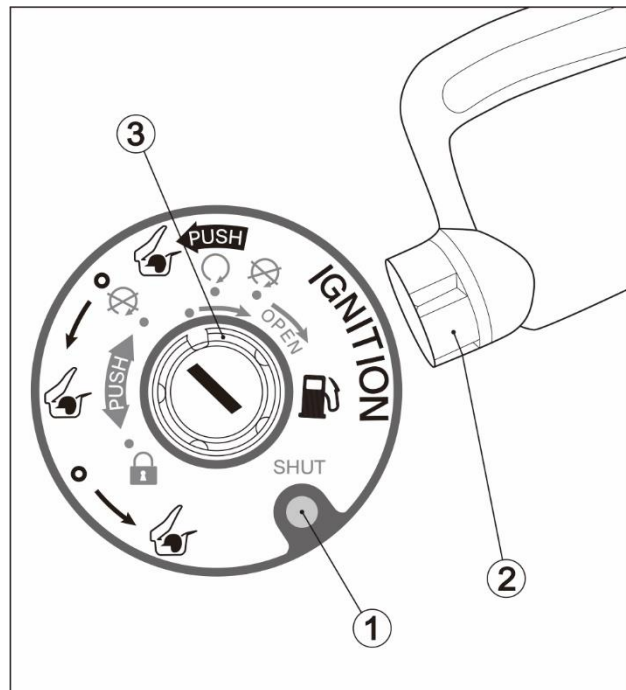
イグニッションスイッチのシャッターボタン①を押して、キーシャッターを閉じます。

イグニッションスイッチのセキュリティシャッターを閉じる方法：

ノッチ②の位置がピン③の位置にくるまで、特定のキーを挿入します。


反時計回りに回すと、キーシャッターが開きます。

キーには、キーに付属するタブに型打ちされている固有コードがあります。キーを複製する必要がある場合は、このコードが必要になります。下の空欄に、この重要なコードを記録してください。

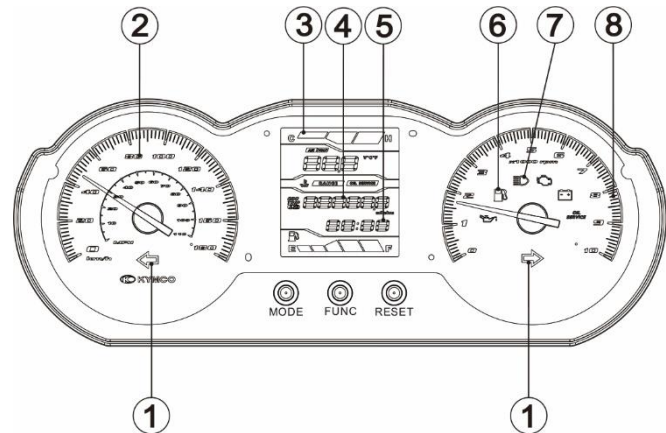


制御および機能

計器

- ① ウィンカー表示灯：どちらかのウィンカーが使用されている時に点滅します。
- ② スピードメーター：道路での速度をKm/h（1時間あたりのキロメートル）で表示します。
- ③ クーラント温度計。
- ④ 走行距離計/トリップメーター：
モードボタンを押して、全走行距離表示とトリップメーター表示を切り替えます。また、トリップメーターをリセットします。
 - 「モード」ボタンを押して、ODO、トリップA/B、オイルサービス（空オード）に入ります。
 - トリップA/B、オイルサービスモードで、「リセット」ボタンを3秒間押しつづけると、リセットされます。
 - Km/hとマイルの切り替えをするには、「モード」と「リセット」ボタンを3秒間押し付けてください。
- ⑤ 時計
- ⑥ ガソリン警告インジケーター「」：ガソリタンクが殻に近い状態になった際、できる限り早く給油する必要があることをお知らせするために点灯します

- ⑦ ハイビームインジケーターライト：ヘッドライトのハイビームがオンになっている時に点灯します。
- ⑧ 回転速度計：1分間当たりの回転数（RPM）でエンジン速度を表示します。



制御および機能

⑨ CELPインジケータ :

エンジンの始動後、点灯し続ける場合、EFIまたは電気系統に障害が検出されたことを示します。公認のKYMCOディーラーが直ちに点検する必要があります。

- 注記：イグニッションスイッチをオンにすると、CLEPインジケータは常に点灯します。エンジン始動後に消灯します。

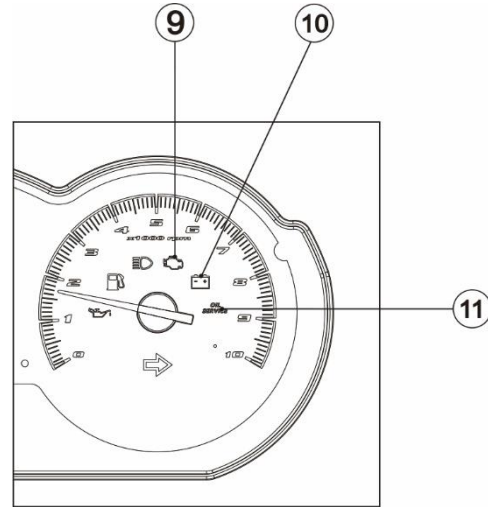
⑩ バッテリー警告インジケータ :

エンジン始動中にバッテリー電圧が低すぎる場合、インジケータが点灯することがあります。バッテリーを完全に再充電しない限り、エンジンは再始動できません。

⑪ オイル交換インジケータ :

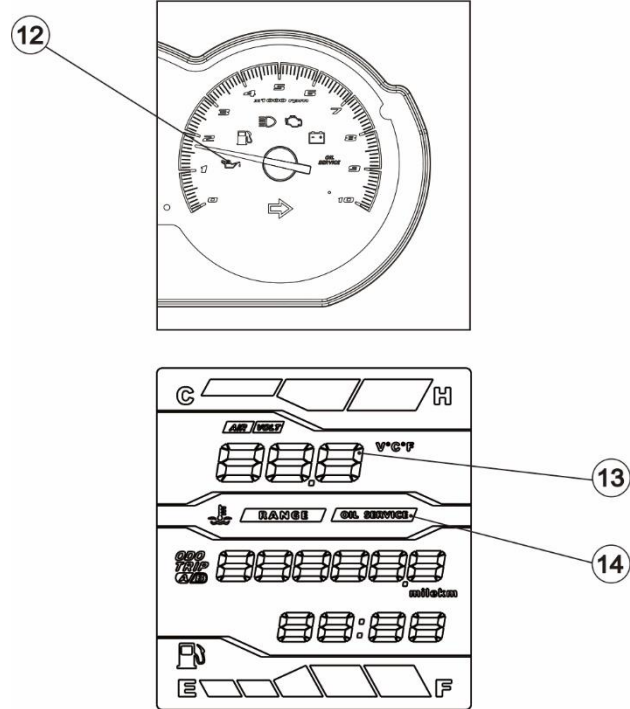
オイル交換距離に達すると点灯します。イグニッションスイッチをオンにすると点灯し、エンジンが始動すると消灯します。

- 「モード」ボタンを押して、ODO、トリップA/B、空ディスプレイ（サービスモード）に入ります。
- オイル交換モードで、「リセット」ボタンを3秒間押しつづけると、リセットされます。



制御および機能

- ⑫ オイル圧力警告インジケーター：
- メインスイッチが作動すると、オイル圧力警告インジケーターが点灯します。
 - エンジンが始動すると、オイル圧力警告インジケーターは消灯します。
 - エンジンが回転するとき、オイル圧力が通常動作よりも低い場合、オイル圧力警告インジケーターが点灯します。これはシステム異常ですので、KYMCOディーラーに行き、チェックを受けてください。
- ⑬ クルーズ情報：「FUNC」ボタンを押して、モードをバッテリー電圧、周囲温度に切り替えます。
- ⑭ オイル交換トリップメーター：オイル交換後の最終リセットからの走行距離を示します。



制御および機能

バッテリー電圧

バッテリーを直接確認することなく情報を得て、バッテリー電圧を表示します。



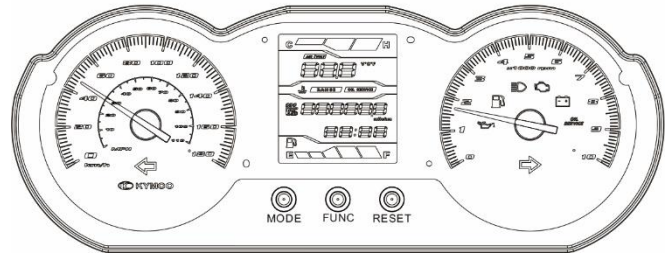
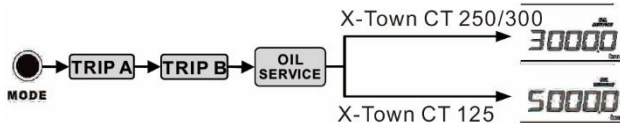
周囲温度モード

周囲温度モードでは、周囲温度を表示します。「FUNC」と「リセット」ボタンを3秒間押して、単位（「°C」（摂氏）と「°F」（華氏））を選択します。



オイルサービストリップメーター

オイルサービス後の最後のリセットからの累積走行距離を表示します。「リセット」ボタンを3秒間押すと、オイル交換インジケータとオイル交換トリップメーターがリセットされます。



制御および機能

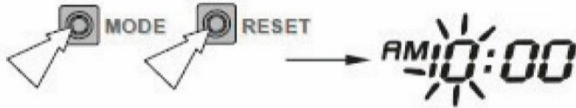
時計の調整

設定手順：

1. イグニッションスイッチを「オン」位置に切り替えてください。
2. モードボタンを2秒以上長押しして、ODOモードを選択してください。

■ **注記：**デジタル時計はODOモードの場合のみ調整することができます。

3. モードボタンを2秒以上長押ししてください。「時間」の桁が点滅して、時間を調整できるようになります。



4. リセットボタンを押して、時間を設定します。



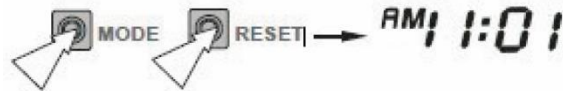
5. モードボタンを押してください。「分」の桁が点滅して、調整できるようになります。



6. リセットボタンを押して、分を設定します。



7. モードボタンをリセットボタンを同時に押して、時計の設定を完了します。



■ **注記：**約10秒以内にボタンを押さない場合、調整はキャンセルされます。

■ **注記：**バッテリーが取り外されると、時計は12:00にリセットされます。

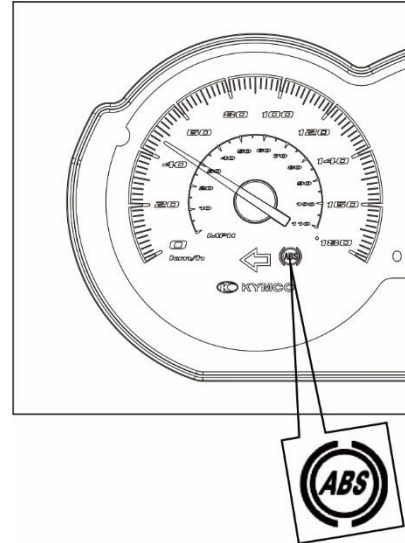
制御および機能

ABSインジケータライト (ABSモデルの場合)

ABSインジケータライトは、多機能メーターの右側にあります。イグニッションスイッチがオンになった時、ABSシステムは自己診断を行い、正常であれば点灯します。車両が動き出した直後にオフになります。ABSインジケータライトは、ABSシステムが正常に動作している限り消灯し続けます。

ABS ECU がABSの障害を検出した場合にはABSインジケータが点灯し、障害が修復されるまで点灯し続けます。ABSシステムが故障している場合でも、システムはABSシステムのない車両のように、従来の制動条件で通常に動作します。

■ **注記：** ABSが障害を示している場合、公認のKYMCOディーラーに直ちにABSシステムを確認してもらうことが非常に重要です。



制御および機能

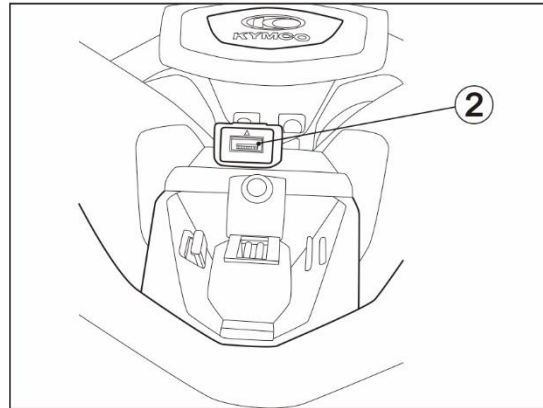
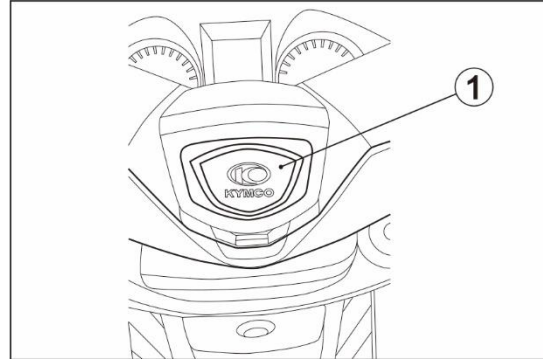
USB電源

本車両にはアクセサリとして**USB電源ソケット**が付属しています。これを使用して、以下の容量に適合するスマートフォンを充電することができます。

USB電源を使用する場合は、イグニッションスイッチをオンに切り替え、エンジンを始動してください。

- **USBソケットのカバー①**を開いてください。
- **USB電源ソケットのキャップ②**を開いてください。
- 充電コネクタを**USBソケット**に差し込んでください。

定格容量：出力電圧：DC 5V、最大出力電流：2A




⚠注意

バッテリー充電はスマートフォンのみを対象としています。他の電気器具を充電すると、電気システムが損傷する可能性があります。

制御および機能


右ハンドルバースイッチ


スターターボタン①：

スターターボタン「」を押しながらブレーキを握ってスターターモーターを作動させます。

■ **注記：**スターターモーターは、サイドスタンドが完全に格納されていない場合は動作しません。


エンジン停止スイッチ②：

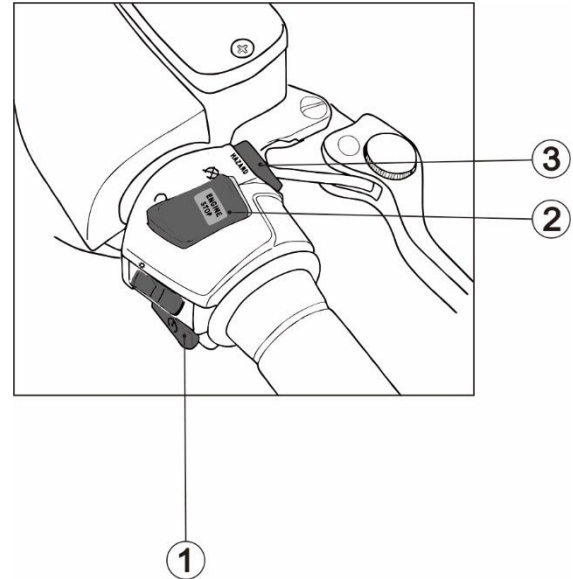
イグニッションスイッチをオンに切り替える前に、ボタンを「」に切り替えて、イグニッションシステムをオンにします。

イグニッションスイッチをオフに切り替えた後、ボタンを「」に切り替えて、イグニッションシステムをオフにします。

■ **注記：**イグニッションがオンである場合、バッテリーは徐々に放電します。

ハザードスイッチ③：

ボタンを「」に切り替えると、すべてのウィンカーとウィンカーインジケータライトが点灯し、他のドライバーに警告します。



制御および機能

左ハンドルバースイッチ

ウィンカースイッチ①：

他のドライバーに転回または車線変更の意図を知らせるために押します。スイッチを左または右に押し続けている間、ウィンカーライトが点滅します。

「←」：左に転回する場合

「→」：右に転回する場合

ウィンカースイッチをオフにする場合は、スイッチをもう一度押してください。

ホーンボタン②：

クラクションを鳴らすには、ホーンボタンを押します。

ディマースイッチ③：

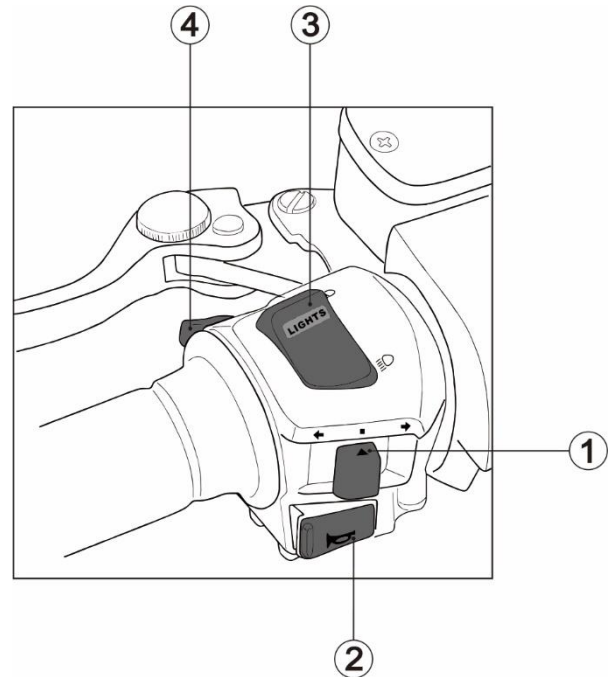
ライトをハイビームまたはロービームに切り替えます。

「☰D」：ロービームの場合

「☷D」：ハイビームの場合

パッシングボタン④：

このボタンを押して、ヘッドライトをハイビームで点滅させ、前方の他のドライバーに追い抜きの意図を知らせます。






制御および機能

燃料計の点検 / 給油

ガソリン残量インジケーターが点滅したら、指定された無鉛ガソリンを給油してください。

燃料タンクフィルター：

給油する場合は、以下を行ってください。

1. メインスイッチをオフに回してください。
2. フュエルタンクの保護キャップを開けるために、イグニッションスイッチを  から  に切り替えてください
3. フュエルタンクキャップを反時計回りに回して、開けてください。キャップを時計回りに回して、閉めてください。
4. イグニッションスイッチを  に切り替え、エンジンを始動してください。

推奨ガソリン

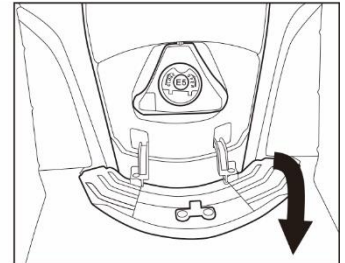
フュエルインレットからガソリンが漏れて火災を引き起こすことのないよう、給油後は、フュエルタンクキャップが完全にロックされていることを確認してください。

ガソリンの種類とオクタン価

エタノール含有量5%以下で、下の表に示す値以上のオクタン価の、清潔で新鮮な無鉛ガソリンを使用してください。

ガソリンの種類	無鉛ガソリン
エタノール含有量	E5以下
最小オクタン価	リサーチオクタン価 (RON) 92



■注記：エタノール含有量5%以下のガソリンを使用してください。





制御および機能

シート

シートをロック解除するには

イグニッションキーが「」位置にある場合は（エンジンが稼働している時）、キーを押し入れて、反時計回りに「」位置に回します。

イグニッションキーが「」位置にある場合は（エンジンが稼働していない時）、反時計回りに「」位置に回します。

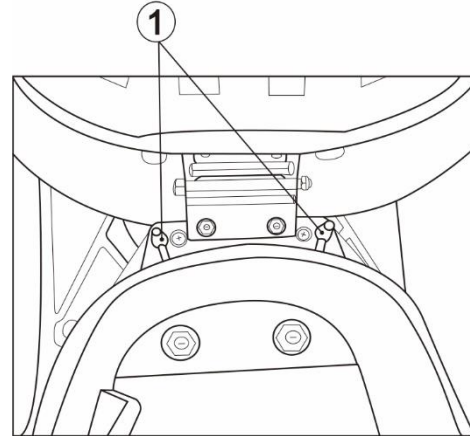
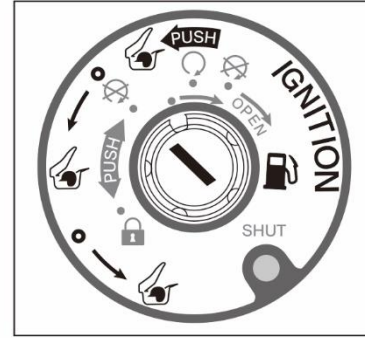
イグニッションキーが「」位置にある場合、反時計回りに「」位置に回します。

ヘルメットホルダー

ヘルメットホルダーを使用する場合は、シートを開き、ホルダーフック①にヘルメットを吊り下げて、シートをしっかりとロックしてください。

警告

ヘルメットホルダーは駐車中のみ使用してください。ヘルメットをホルダーに吊るした状態で乗車しないでください。



制御および機能

ラゲージボックス内のコンポーネント

1. ラゲージボックスのLEDライト

シートパッドを持ち上げると、ライトが点灯し、シートを閉じると、ライトは消灯します。

2. DC12V電源ソケット

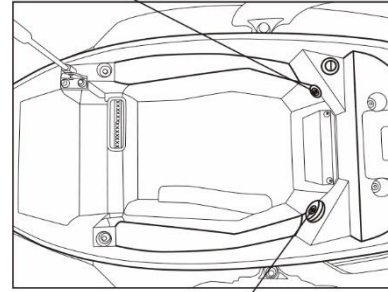
⚠注意

- ラゲージボックスライトには、光感知スイッチが付属しています。シートパッドを閉じるのを忘れた場合、またはシートが完全に閉じていない場合、バッテリーの電力損失を防止するため、システムは設定された時間後に自動的に電源を切断します。

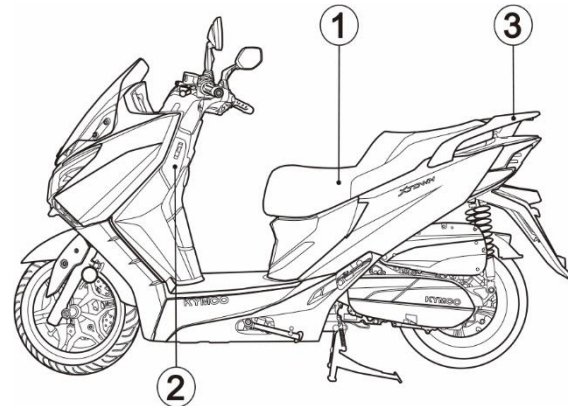
最大貨物重量：

- ① リアラゲージボックス10Kg
- ② フロントインナーボックス1.5Kg
- ③ リアキャリア 5Kg

LEDライト



DC12V電源ソケット

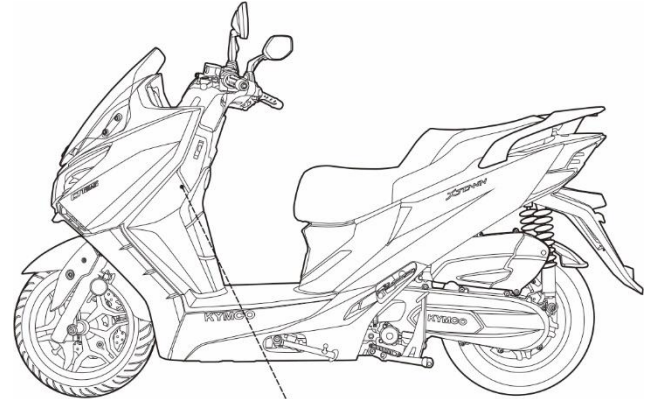
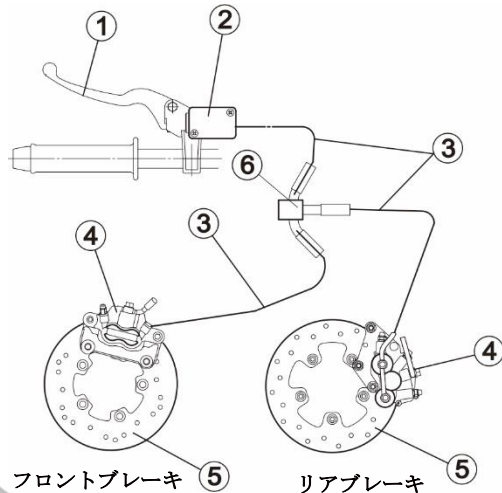


制御および機能

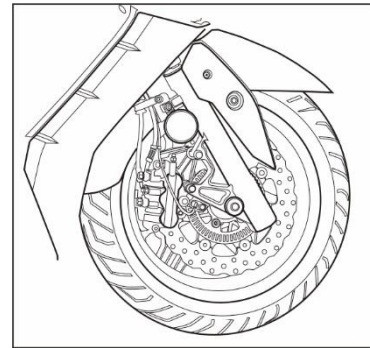
コンビネーション制動システム (CBS)

コンビネーション制動システムにより、ライダーがリアブレーキを握ると、フロントとリアの両方にブレーキがかかります。各ブレーキに提供される制動力は、CBSポンプにより自動的に調整されます。フロントブレーキレバーを握った場合、フロントのみにブレーキがかかります。

- ①リアブレーキレバー
- ②マスターシリンダー
- ③ブレーキホース
- ④ブレーキキャリパー
- ⑤ブレーキディスク
- ⑥CBSポンプ



スリムチューブ



制御および機能

サスペンション

スクーターに搭載されているそれぞれのショックアブソーバーには、様々な負荷や乗車条件に対応するため、スプリングプリロード調整位置が5つあります。

フィッティングレンチを使用して、アジャスターのボス①を回してください。

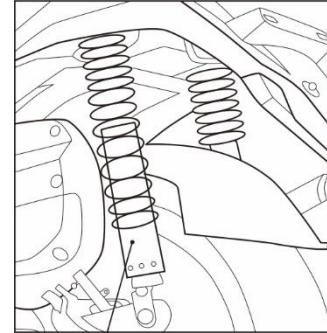
ポジション1は軽い負荷とスムーズな道路状況に向いています。

ポジション3～5はより硬いリアサスペンション向けにスプリングプリロードが増加しており、高い負荷がかかっている時に使用できます。

■ **注記：**ショックアブソーバーのプリロードポジションは、常に順番に調整するようにしてください（1-2-3-4-5 または 5-4-3-2-1）。

1から5、または5から1へと直に調整しようとすると、ショックアブソーバーを損傷する場合があります。

標準的なスプリングプリロードのポジション：**3**



①

警告

両方のショックアブソーバーを、スプリングプリロードの同じポジションに調整するようにしてください。

ショックアブソーバーを不適切に設定すると、ハンドリングが不安定になり、事故につながるおそれがあります。

制御および機能

サイドスタンド

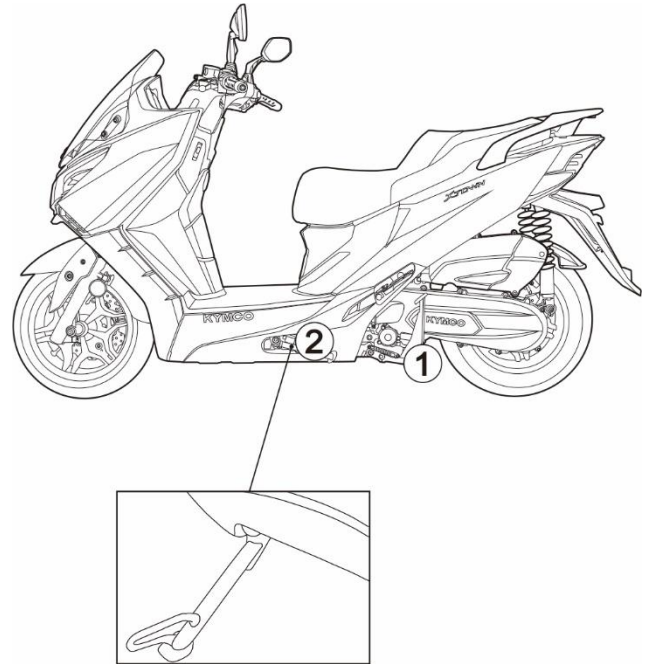
サイドスタンドは駐車用に必要であるだけでなく、安全機能上重要な意味を持っています。この機能により、サイドスタンドが下りているとき、イグニッションを遮断することができます。

サイドスタンドについて次の検査を実施して、インターロック機能を確認してください。

サイドスタンドによるイグニッション遮断を確認します。

- センタースタンド①を使用して、車両を平坦な場所に駐車してください。
- サイドスタンドを上げて、エンジンを始動してください。
- サイドスタンド②を下げてください。エンジンが停止します。

■ **注記：** サイドスタンドが説明書通りに動作しない場合は、KYMCOディーラーで点検を受けてください。



第3章 – 運転

乗車前の点検

安全のため、乗車する前には毎回オートバイの周りを一周し、状態を確認する時間をとることが非常に重要です。不具合を発見した場合は、必ず対処するか、KYMCOディーラーに修理を依頼してください。



オートバイのメンテナンスが不適切であったり、乗車する前に問題を解決しなかった場合、事故へとつながる恐れがあり、深刻な怪我や死亡事故を引き起こす可能性があります。乗車前には、必ず毎回乗車前の点検を実施し、問題を発見した場合は解決してください。

1. エンジンオイルのレベル：

必要に応じてエンジンオイルを足してください。漏れがないかどうかを確認してください。

2. ガソリンの残量：

必要に応じて燃料タンクを補給してください。漏れがないかどうかを確認してください。

3. フロントブレーキおよびリアブレーキ：

動作を確認してください。ブレーキオイルが漏れていないことを確認してください。

4. タイヤ：

状態と空気圧を確認してください。

5. スロットル

スムーズに動作しているか、またすべてのステアリングポジションで完全に閉まっているか確認してください。

6. ライトとホーン：

ヘッドライト、尾灯・ブレーキライト、ウインカー、インジケーターおよびホーンが正常に機能しているか確認してください。

7. ステアリング：

状態と円滑さを確認してください。

操作

慣らし走行

乗車の最初の**1600km (1000マイル)**は、使用寿命にとって非常に重要です。この期間中に適切な慣らし運転を実施すると、寿命と性能を最大限発揮することができます。

慣らし運転期間中に特別なお手入れや動作を制限することで信頼性と性能に差が出ます。

慣らし運転期間中は次の制限をお守りください。

最初の800km (500マイル) :

1/2スロットルを超えないようにします

1600km (1000マイル) まで :

3/4スロットルを超えないようにします

エンジン速度を変化させる

エンジン速度を変化させ、長時間一定速度を維持しないようにしてください。また、慣らし運転期間中は過負荷を避けてください。

一定の低速を避ける

低負荷であっても、エンジンを一定の低速で動作させると、動作部品に問題が発生する可能性があります。慣らし運転期間中は、エンジンを優しく始動してください。

フルスロットル操作を避ける

エンジンを高速度で動作させると、動作部品に潤滑の問題が発生します。慣らし運転期間中は、制限速度を維持してください。



1000km (600マイル) の初期点検は、将来において車両の最適な状態を保証するために非常に重要です。

操作

エンジンの始動

本書および以下のページに記載されている適切な始動手順に常に従うようにしてください。

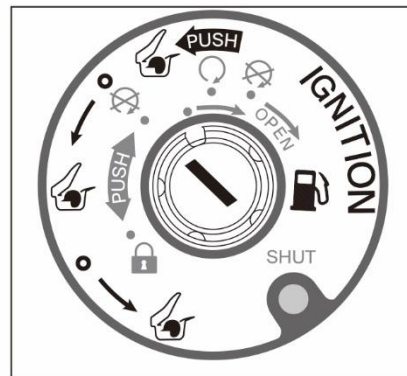
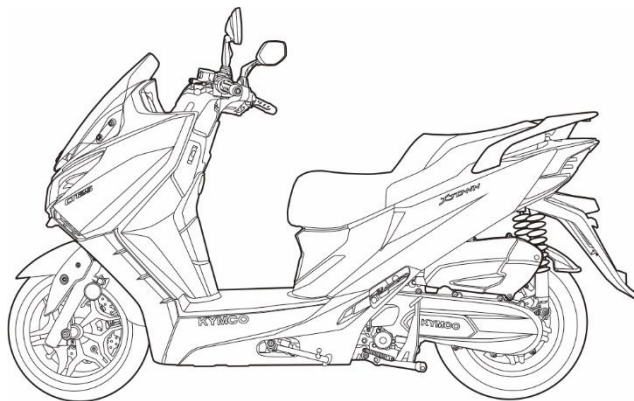
⚠注意

エンジンの排気マフラーにある触媒コンバーターを保護するため、長時間にわたるアイドリングは避け、有鉛ガソリンは使用しないでください。

⚠注意

スターターモーターへの損傷を避けるため、スターターモーターを連続して5秒以上作動させないでください。始動に失敗した場合は、ガソリン残量とバッテリーの状態を確認し、15秒まってから再始動してください。

1. センタースタンドをかけてスクーターを止め、サイドスタンドは上げてください。
2. イグニッションキーを差し込んで、「🔑」に回してください。

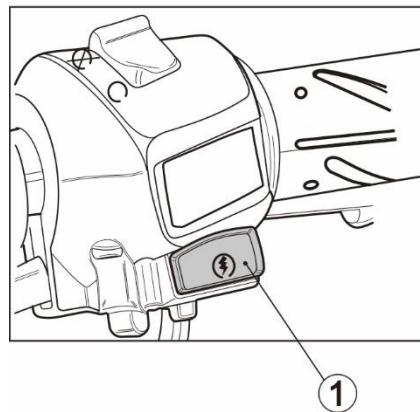
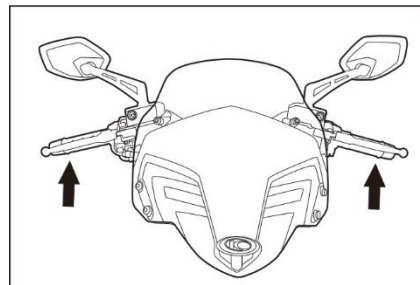


操作

3. 左（リア）ブレーキレバーを握ると、電気がつながり、エンジンの始動準備が整います。
4. スロットルを閉じた状態で、スターターボタン①を押し、エンジンが始動したら離してください。
5. エンジンを温めている間は、スロットルを閉じたままにしてください。
6. 乗車前にはその都度エンジンを完全にあたためてから運転してください。

⚠注意

始動後、スクーターに乗車する前に、エンジンオイルを循環させてください。
エンジンに負荷をかける前、エンジンを動作させる前に、エンジンの暖機運転/冷機運転でエンジンを始動後、十分な時間アイドリングさせてください。これにより、エンジンオイルがエンジンの重要なコンポーネントに行き渡ります。



操作

ABSシステム (ABSモデルの場合)

ABSシステムは、緊急制動時にホイールロックを防止するための機器です。これにより、ブレーキをかける際に安定性を維持することができます。

ABSによる制動

フロントブレーキおよびリアブレーキレバーに同時に安定した均一なブレーキ操作を行ってください。ABSなしの場合と同じように、同じフリップ力をブレーキレバーにかけてください。

システムは、ホイールロックを防止するため、各ホイールに自動的かつ独立して制動力をかけるように制御します。



ABSは、滑りやすい条件下でのコーナリング中の転倒を防止するものではありません。

ABSの制限

ABSは自動的にブレーキをかけることはありません。正しいタイミングで、正しい大きさの制動力をかける必要があります。

ABSは、ブレーキレバーを操作した後でのみ動作します。



ABSは、安全運転に置き換わるものではありません。ABSがある場合でも、危険は残りません。運転中は、適切かつタイムリーに安全を守る方法で対応してください。

不要なリスクを取らないようにしてください。

前方の車両と十分な車間距離を維持する、スピードを出しすぎない、障害物を予測する、車両の速度を交通状況、天候、道路の状態に合わせるなどの慎重な運転習慣は、安全運転のために不可欠です。

第4章 – メンテナンス

メンテナンスの重要性

安全かつ経済的に、問題のない運転を楽しむためには、オートバイを適切にメンテナンスすることが不可欠です。空気汚染を削減するためにも役立つ、燃費を最大限にまで高めます。

オートバイの適切なお手入れに役立つように、本取扱説明書の以下のページには、適切な間隔でオートバイの点検を実施できるようにメンテナンススケジュールが記載されています。

これらの説明は、オートバイが意図された通常的设计目的にのみ使用されることを前提としたものです。高速で運転し続けている場合や、異常に濡れたエリアやほこりの多いエリアで常に乗車している場合、メンテナンススケジュールに指定されている回数よりもより頻繁な点検が必要になります。お客様のニーズに対する推奨事項につきましては、KYMCOディーラーにご相談ください。

■ **注記：**以降のページに記載される検査、点検の推奨事項やスケジュールを必ず遵守してください。

警告

オートバイが転倒したり、事故に巻き込まれたりした場合は、ご自身である程度の修理を行うことが可能である場合でも、必ずKYMCOディーラーにすべての主要パーツの点検を依頼してください。

オートバイのメンテナンスが不適切であったり、乗車する前に問題を解決しなかった場合、事故へとつながる恐れがあり、深刻な怪我や死亡事故を引き起こす可能性があります。

警告

オートバイのメンテナンスを実施する時に、エンジンを始動する必要がある場合があります。エンジンを屋内で動作させると危険な場合があります。排気ガスには無色・無臭の一酸化炭素が含まれており、死亡または重傷を引き起こす可能性があります。十分に換気された場所でエンジンを始動してください。可能であれば、屋外で操作してください。

保守

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュール期間には、毎回乗車前の点検を実施してください。スケジュールの頻度は走行距離計の値または月数のうち、いずれか早いほうに基づいて判断してください。

メンテナンススケジュールチャート：

I: 必要に応じて点検、清掃、調整、潤滑油差し、または交換を実施

C: 清掃 R: 交換 A: 調整 L: 潤滑油差し D: 診断 T: 締める

次の2ページにわたり掲載されているメンテナンススケジュールには、オートバイを良好な動作状態に保つために必要となるメンテナンスについて記載されています。メンテナンススケジュールは、公認のKYMCOディーラーによる設計基準や仕様に従って実施する必要があります。

- * 適切なツールやサービスデータを有し、技術的な資格がある場合以外は、KYMCOディーラーに点検を依頼してください。
- ** 安全のため、これらの事項はKYMCOディーラーのみが点検することを推奨します。KYMCOでは、KYMCOディーラーがメンテナンスサービスの後、道路上でのテストを実施することを推奨します。

■注記：

1. 走行距離計の読み取り値が大きい場合は、ここに示す点検間隔よりも短い頻度で点検を実施してください。
2. ほこりの多い場所で常に乗車している場合は、こまめに点検してください。
3. 雨天時の乗車やエンジン全開で長時間乗車している場合は、こまめに点検してください。
4. 交換後は5000 km (3000マイル)毎に清掃し、10000 km (6000マイル)毎に交換してください。
5. 5000km(3000マイル) または6か月毎に交換してください。交換には熟練した技術が必要です。
6. 2年に1回交換してください。交換には熟練した技術が必要です。
7. 1000km (600マイル) 毎に検査してください。必要に応じてエンジンオイルを足してください。
8. ラジエーターおよびラジエーター保護グリッド：1000km毎に検査および清掃してください。ほこりや湿気の多い場所で乗車する場合は、こまめに検査や清掃を行ってください。

メンテナンス (X-TOWN CT125)

項目		頻度	いずれか早い方を選択 走行距離計の読み取り値 (注記1)							
		X 1000 km	1	5	10	15	20	25	30	参照ページ
		X 1000 mi	0.6	3	6	9	12	15	18	
		月数	1	6	12	18	24	30	36	
*	エアクリナー	注記2		R	R	R	R	R	R	41
	スパークプラグ	注記4		I	R	I	R	I	R	42
*	スロットル操作			I	I	I	I	I	I	41
*	バルブの隙間			I	A	I	A	I	A	
*	燃料経路				I		I		I	
	クランクケースの通気孔	注記3	C	C	C	C	C	C	C	52
	エンジンオイル		R	R	R	R	R	R	R	35
*	エンジンオイルスクリーン			C	R	C	R	C	R	
*	エンジンオイルフィルタ		R	R	R	R	R	R	R	
*	エンジンアイドルリング速度				I		I		I	
*	トランスミッションオイル	注記5	R	R	R	R	R	R	R	39
*	駆動ベルト			I	I	I	R	I	I	
**	ラジエータークーラント		I	I	R	I	R	I	R	50

メンテナンス (X-TOWN CT125)

項目	頻度	いずれか早い方 を選択	走行距離計の読み取り値 (注記1)							参照ペー ジ	
	X 1000 km	1	5	10	15	20	25	30			
	X 1000 mi	0.6	3	6	9	12	15	18			
	月数	1	6	12	18	24	30	36			
**	クラッチシューの摩耗			I		I		I			
	ブレーキオイル	注記6		I	R	I	R	I	R	43	
	ブレーキパッドの摩耗			I	I	I	I	I	I	44	
	ブレーキシステム			I	I	I	I	I	I		
*	ブレーキライトスイッチ			I	I	I	I	I	I		
**	ステアリングベアリング			I	I	I	I	I	I		
*	ヘッドライト照準			I	I	I	I	I	I		
*	ナット、ボルト、留め具			T	T	T	T	T	T		
**	車輪/タイヤ			I	I	I	I	I	I	49	
*	CVTフィルタ			C	C	C	C	C	C		
**	インジェクタ			D	C	D	C	D	C		
	エンジンリミットレバーゴム製 ガスケット			10000km毎に検査し、30000Km毎に交換する							

メンテナンス (X-TOWN CT250/300)

項目		頻度	走行距離計の読み取り値 (注記1)							参照ページ
		いずれか早い方 を選択	1	3	6	9	12	15	18	
		X 1000 km	0.6	2	4	6	8	10	12	
		X 1000 mi		3	6	9	12	15	18	
*	エアクリーナー	注記2		R	R	R	R	R	R	41
	スパークプラグ	注記4			I		R		I	42
*	スロットル操作			I	I	I	I	I	I	41
*	バルブの隙間		A				A			
*	燃料経路						I			
	クランクケースの通気孔	注記3	C	C	C	C	C	C	C	52
	エンジンオイル		R	R	R	R	R	R	R	36
*	エンジンオイルスクリーン		C	C	C	R	C	C	R	
*	エンジンアイドルリング速度				I		I		I	
*	トランスミッションオイル	注記5	R		R		R		R	40
*	駆動ベルト		5000km毎に検査し、20000km毎に交換する							
**	ラジエータークーラント		10000km毎または毎年交換する							39

メンテナンス (X-TOWN CT250/300)

項目	頻度	いずれか早い方 を選択	走行距離計の読み取り値 (注記1)						参照ページ		
			X 1000 km	1	3	6	9	12		15	18
			X 1000 mi	0.6	2	4	6	8		10	12
			月数		3	6	9	12		15	18
**	クラッチシューの摩耗				I		I		I		
	ブレーキオイル	注記6	10000km毎または毎年交換する						43		
	ブレーキパッドの摩耗			I	I	I	I	I	I	44	
	ブレーキシステム			I	I	I	I	I	I		
*	ブレーキライトスイッチ			I	I	I	I	I	I		
**	ステアリングベアリング			I	I	I	I	I	I		
*	ヘッドライト照準			I	I	I	I	I	I		
*	ナット、ボルト、留め具			T	T	T	T	T	T		
**	車輪/タイヤ			I	I	I	I	I	I	49	
*	CVTフィルタ				C		C		C		
**	インジェクタ			D	D	C	D	D	C		
	エンジンリミットレバーゴム製 ガスケット		10000km毎に検査し、30000Km毎に交換する								

保守

エンジンオイル (X-Town CT125)

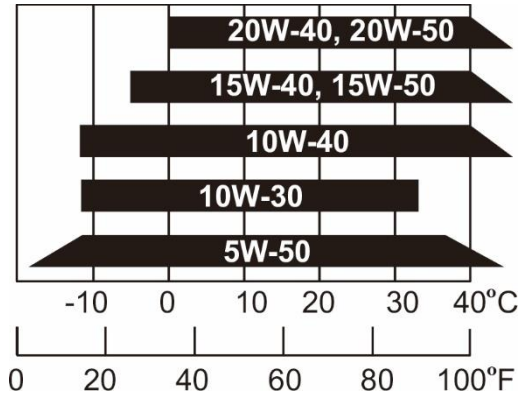
推奨するエンジンオイル

耐用年数を長くするため、高品質の4ストローク用エンジンオイルを使用してください。API規格の SLグレード以上のオイルを選択してください。

エンジンオイルの粘度 : SAE 5W-50

非対応の粘度グレードの場合は、次のチャートに従って、代替エンジンオイルを選択してください。

エンジンオイルの粘度

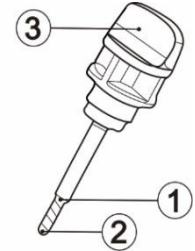
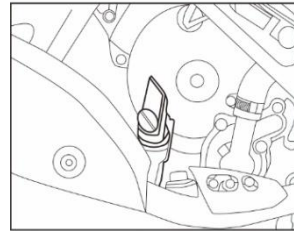


全容量 : 1.2 L

交換容量 : 1.0L

エンジンオイルレベルの点検

乗車する前に、毎日エンジンオイルレベルを確認してください。オイルレベルは、オイルレベルゲージ③の上線①と下線②の間になるようにしてください。



△注意

上線を超える、下線を下回るオイルレベルの状態、スクーターを動作させないようにしてください。オイルレベルが低下すると、オイル圧力が低下します。油圧が不十分な状態でスクーターのエンジンを稼働すると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。

エンジンオイルを過充填すると、オイル漏れやエアフィルターエレメントの汚染を引き起こす可能性があります。オイルレベルが、オイルレベルゲージの「L」マークより上かつ「F」マークより低いことを常に確認してください。

保守

エンジンオイル (X-Town CT250/300)

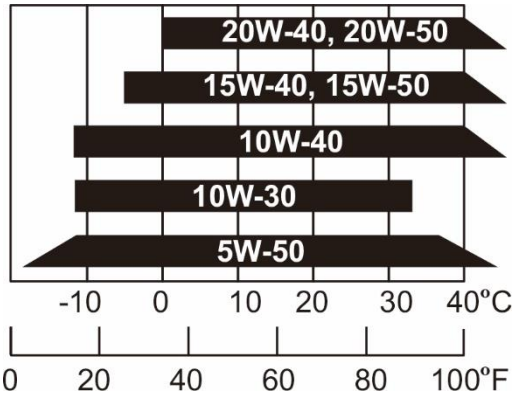
推奨するエンジンオイル

耐用年数を長くするため、高品質の4ストローク用エンジンオイルを使用してください。API規格の **HIGH LINE SL** グレード以上のオイルを選択してください。

エンジンオイルの粘度 : SAE 5W-50

非対応の粘度グレードの場合は、次のチャートに従って、代替エンジンオイルを選択してください。

エンジンオイルの粘度

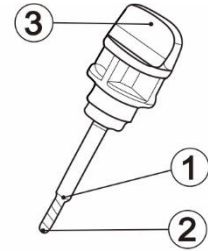
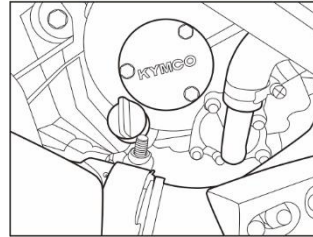


全容量 : 1.1 L

交換容量 : 0.9L

エンジンオイルレベルの点検

乗車する前に、毎日エンジンオイルレベルを確認してください。オイルレベルは、オイルレベルゲージ③の上線①と下線②の間になるようにしてください。



⚠注意

上線を超える、下線を下回るオイルレベルの状態では、スクーターを動作させないようにしてください。オイルレベルが低下すると、オイル圧力が低下します。油圧が不十分な状態でスクーターのエンジンを稼働すると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。

エンジンオイルを過充填すると、オイル漏れやエアフィルターエレメントの汚染を引き起こす可能性があります。オイルレベルが、オイルレベルゲージの「L」マークより上かつ「F」マークより低いことを常に確認してください。

保守

エンジンオイルの点検

- エンジンを始動し、数分間アイドルリング状態にしてください。
- エンジンを停止してセンタースタンドをかけ、平坦な場所にスクーターを駐車してください。
- しばらく経ってから、オイルレベルゲージを取り出してください。
- オイルを拭き取り、オイルレベルゲージをねじらずに再度差し込んでください。
- オイルレベルゲージを取り出してください。オイルレベルは、オイルレベルゲージの上線と下線の間になるようにしてください。
- 必要に応じて、オイルケーシングの上レベル線にオイルレベルが達するように、指定オイルを追加してください。補給しすぎないようにしてください。
- オイルレベルゲージを再度差し込んでください。オイル漏れがないか確認してください。



警告

エンジンや関連部品が非常に熱くなる可能性があります。やけどをしないよう、オイルレベルを点検する際には十分ご注意ください。点検を行う前に、エンジンと排気システムを冷ましてください。

エンジンオイルの交換

エンジンオイルの品質は、エンジンの寿命に影響を及ぼす主な要因です。メンテナンススケジュールの指定に従って、スクーターのエンジンオイルを交換してください。

- エンジンを完全に冷やしてからとめてください。
- センタースタンドをかけて車両を駐車してください。
- ドレンボルトの下に排オイルを捨てるための容器を置いてください。
- オイルレベルゲージを取り外してください。
- ドレンボルトを取り外し、オイルを完全に抜いてください。
- ドレンボルトを指定トルクで締めてください。
- オイルレベルゲージの上線に達するようにオイルを追加してください。
- オイルレベルゲージを所定の位置にしっかりとねじ込んでください。

締め付けトルク

エンジンオイルドレンボルト : 25N·m (2.5kg·m, 18ft·lb)



注意

エンジン部品の焼き付きを防止するため、純正のエンジンオイルまたは同じ品質で同グレードのエンジンオイルを使用してください。

保守

エンジンオイルフィルターの交換（X-Town CT125の場合のみ）

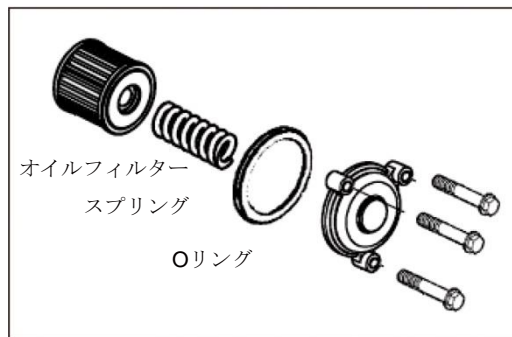
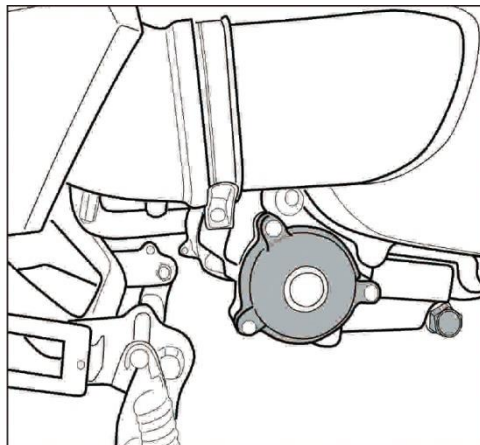
- オイルレベルゲージをクランクケースからねじりながら取り外してください。
- オイルフィルターキャップの下に排オイル用の容器を置いてください。
- ボルトを緩めて、オイルフィルターキャップを取り外してください。
- Oリング、スプリング、フィルターを取り出してください。
- オイルフィルターを新しいフィルターに交換してください。グロメットシールが内側を向いていることを確認してください。
- Oリングを新しいOリングに交換してください。
- Oリングの上にエンジンオイルを薄く適用してください。
- スプリングを取り付けオイルフィルターキャップの上に置いてください。
- ボルトを指定トルクで締めてください。

⚠注意

エンジン部品の焼き付きを防止するため、純正のエンジンオイルまたは同じ品質で同グレードのエンジンオイルを使用してください。

⚠注意

オイルフィルターを誤って取り付けると、オイル循環に不具合が発生し、エンジンが損傷する可能性があります。



保守

トランスミッションギアオイルの交換

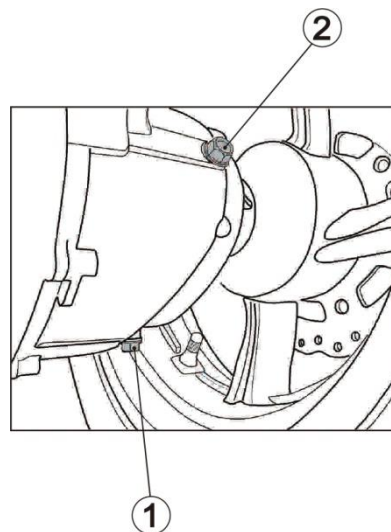
(X-Town CT125)

1. センタースタンドをかけてスクーターを駐車してください。
2. ギアオイル排出ボルト①を取り外してください。
3. ギアオイルフィルターボルト②を取り外し、リアホイールをゆっくりと回転させ、ギアオイルを抜いてください。
4. 以下に記載される容量に達するまで推奨オイルを入れててください。
5. トランスミッションフィルターボルトを取り付けて、指定のトルクで締め付けます。

ギアオイルタイプ : SAE 90

全容量 : 0.13 L

交換容量 : 0.12L



⚠注意

ベアリングの焼き付き、ギアセットの損傷を防止するため、純正のエンジンオイルまたは同じ品質で同グレードのエンジンオイルを使用してください。

⚠注意

オイル廃棄に関しては地域の規定に従い、禁止事項を遵守してください。

保守

トランスミッションギアオイルの交換

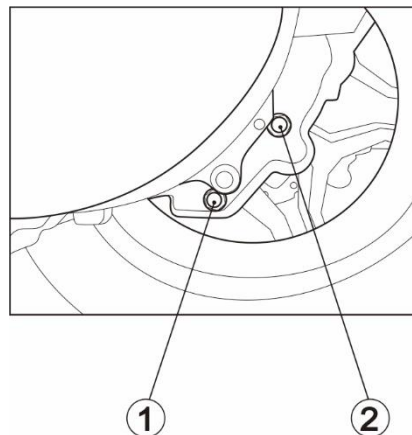
(X-Town CT250/300)

1. センタースタンドをかけてスクーターを駐車してください。
2. ギアオイル排出ボルト①を取り外してください。
3. ギアオイルフィルターボルト②を取り外し、リアホイールをゆっくりと回転させ、ギアオイルを排出させてください。
4. 以下に記載される容量に達するまで推奨オイルを入れてください。
5. トランスミッションフィルターボルトを取り付けて、指定のトルクで締め付けます。

ギアオイルタイプ : SAE 90

全容量 : 0.23 L

交換容量 : 0.18L



⚠注意

ベアリングの焼き付き、ギアセットの損傷を防止するため、純正のエンジンオイルまたは同じ品質で同グレードのエンジンオイルを使用してください。

⚠注意

オイル廃棄に関しては地域の規定に従い、禁止事項を遵守してください。

保守

エアクリーナーフィルターエレメント

エアクリーナーフィルターエレメント①は、KYMCOディーラーが定期的に点検する必要があります。

■ **注記：**異常に濡れたエリアやほこりの多いエリアで乗車している場合は、エレメントをこまめに点検してください。

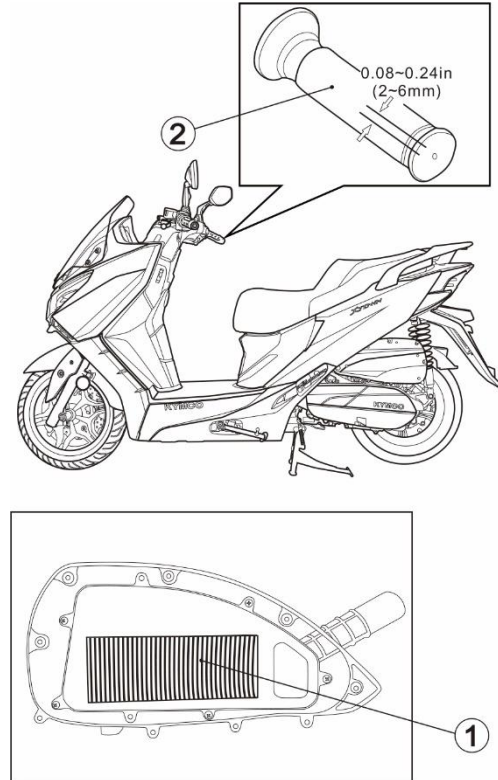
⚠注意

誤ったKYMCOエアクリーナーエレメント、または同等の品質を持たない非KYMCO製のエアクリーナーエレメントを使用した場合、エンジンの早期摩耗あるいは性能上の問題を引き起こすことがあります。

スロットルの作動

1. 乗車する前に、ステアリングの完全な両端で、完全開位置から完全閉位置までの滑らかな回転を確認してください。
2. 右に示すようにスロットルの遊び②を測定してください。

スロットルの遊び：2.0～6.0 mm (0.08～0.24インチ)



保守

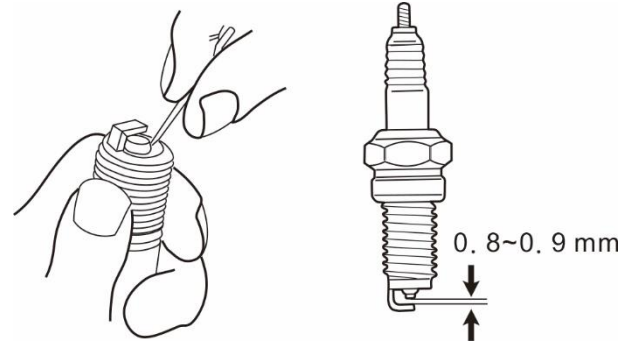
スパークプラグ

非金属製ブラシまたは適切な溶剤でスパークプラグにある炭素堆積物を取り除いてください。清掃後、スパークプラグギャップ隙間ゲージを使って、スパークプラグのギャップが指定された制限内になるように調節してください。スパークプラグは定期的に交換する必要があります。

代替スパークプラグを選択するときは、KYMCOディーラーに相談することを推奨します。

推奨されるスパークプラグ (125) : CPR7EA-9

推奨されるスパークプラグ (250/300) : DPR6EA-9



スパークプラグのギャップ : 0.8 ~ 0.9mm

⚠注意

不適切なスパークプラグはエンジンに正しくフィットしなかったり、熱領域が適切でないことがあります。これによりエンジンに深刻な損傷が発生する場合がありますが、これらは保証の対象となりません。エンジンに深刻な損傷が発生する恐れがあるため、熱価が適切でないスパークプラグは絶対に使用しないでください。

保守

ブレーキ液

ブレーキ液レベルの点検

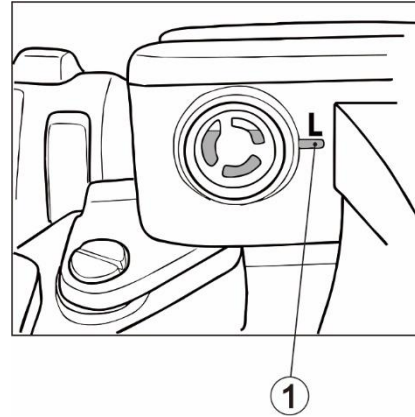
スクーターが直立になった状態で、フロントブレーキとリアブレーキの液レベルを確認してください。

メンテナンススケジュールに指定されるタイミングで、ブレーキオイルを交換してください。

レベルは下レベル線①より上にくる必要があります。レベルが「L」下位マークの位置またはそれより下にある場合は、ブレーキパッドが摩耗していないか、漏れがないか確認してください。

■ **注記**：ブレーキオイルが漏れていないことを確認してください。ホースや取付け具が劣化していたり、ひび割れていないか確認してください。

ブレーキ液の種類：DOT-4



⚠ 警告

- 密封された容器に入ったDOT 4ブレーキオイルのみを使用してください。
- 取り外す前にフィルターキャップを清掃してください。

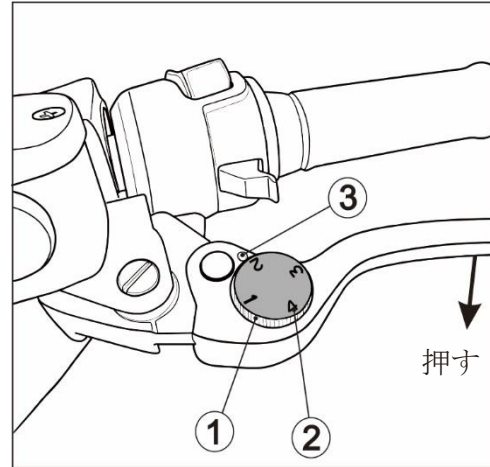
保守

ブレーキレバーアジャスター

各ブレーキレバーにはアジャスターがあります。各アジャスターには、個人のグラッピング要件に合わせて調整できる4つのレバー位置があります。

ハンドルバーグリップからレバーまでの距離を調整する場合は、レバーを前方に押し、アジャスター①の番号②をブレーキレバー上のマーク③に整列させてください。

■ **注記：** グリップから解放された状態のレバーまでの距離がを最も近づけたい場合は番号1にセットし、最も遠ざけたい場合は番号4に設定してください。



[ブレーキレバーの調整]

アジャスターの位置	1	2	3	4
レバーの位置	近い	←————→		遠い

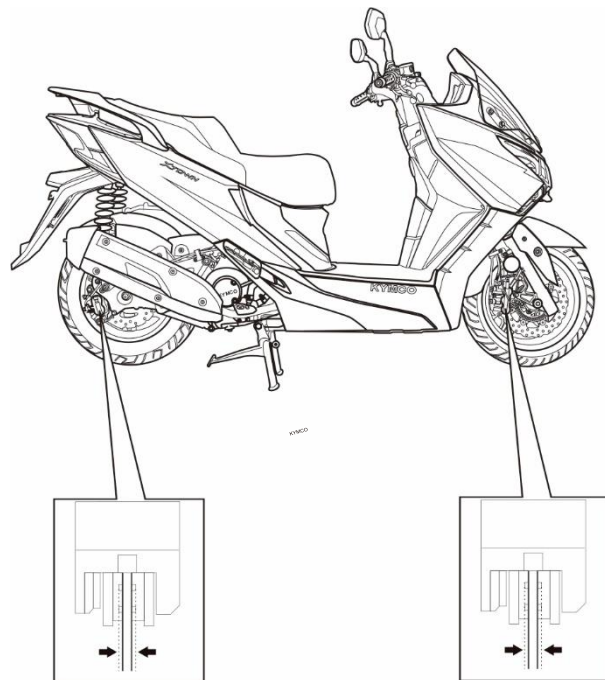
保守

ブレーキパッドの検査

ブレーキパッドの厚みを検査し、適切に制動するための十分なライニングがあるかどうかを確認します。

ブレーキパッドの摩耗表示溝が目で確認できなくなっている場合、ブレーキパッドが摩耗し交換が必要なことを示します。

乗車前に、ブレーキを数回かけ、適切なレバーストロークに到達し、しっかりした制動操作が感じられるかどうかを確認してください。これにより、ブレーキパッドがブレーキディスクにしっかりと押されていることが確認できます。



警告

- 乗車中にブレーキレバーを頻繁に使うと、ブレーキの摩耗が早まります（ブレーキのドラッグング）。
- ブレーキパッドが摩耗すると、停止距離が長くなり、事故が起きやすくなります。

保守

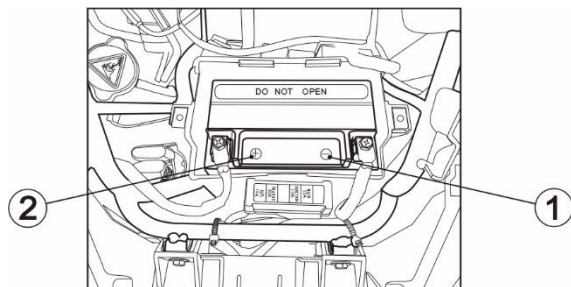
バッテリー

バッテリーは密閉型ですので、バッテリーの電解液量を確認したり、蒸留水を加えたりする必要はありません。

■ **注記：**バッテリーが消耗しているか、電解液が漏れている場合は（ハードスタートやその他の電気上の問題の原因になります）、直ちにKYMCOディーラーにご連絡ください。

- 負極 (-) 端子①を取り外してください。
- 正極 (+) 端子②を取り外してください。
- 使用できなくなったバッテリーを取り外してください。
- 取り外しと逆の順序で再度取り付けてください。

■ **注記：**キャップストリップを取り外すと、バッテリーは恒久的に破損します。



警告

電極には重大なやけどを引き起こす硫酸が含まれているため有害かつ危険です。皮膚、目、衣服に触れないようにしてください。また、バッテリーの近くで作業するときは、必ず目を保護してください。接触した場合は、次の救急処置を実施してください。

■ 触れてしまった場合：十分な水で洗い流してください。

■ 飲み込んでしまった場合：大量の水または牛乳を飲み、直ちに医師の診察を受けてください。

■ 目に入った場合：15分以上水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。

バッテリーは爆発性水素ガスを生成します。そのため、バッテリーに火花、裸火、タバコなどを近づけないようにしてください。閉鎖空間で充電するときは、十分な換気を行ってください。

すべてのバッテリーをお子様の手の届かないところに保管してください。

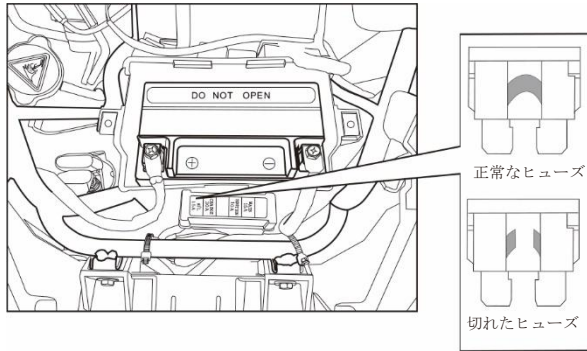
保守

ヒューズ

ヒューズの不具合が頻繁に発生する場合、これは通常、電気系統の短絡または過負荷を示しています。

警告

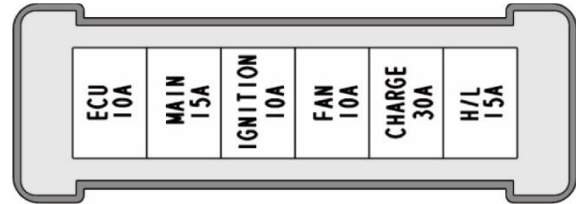
- 異なる定格のヒューズを絶対に使用しないようにしてください。
- 短期間に新しいヒューズが切れる場合は、KYMCOディーラーに直ちにご相談ください。



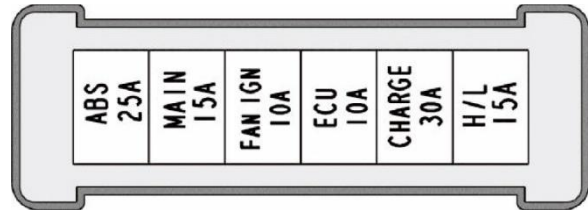
ヒューズの割り当て

機能するヒューズはいずれもヒューズボックス内にあります。ヒューズボックスカバーの背面にはステッカーが貼付されています。ステッカー上の指示に従い、ヒューズを取り付けてください。

ABSが装備されていない場合：



ABSが装備されている場合：



保守



タイヤ

タイヤ圧

タイヤ空気圧が不十分な場合、摩耗が発生するだけでなく、乗車の安定性にも影響を及ぼします。タイヤの空気圧が低すぎると滑らかに回転しなくなります。また、タイヤの空気圧が高すぎると地面との接触面積が小さくなり、スキッドが発生したり、十分な制御が行えなくなったりします。空気圧が、常に指定されている制限の範囲内にあることを確認してください。

■ **注記：** 定期的なメンテナンススケジュールに記載されている間隔で、タイヤの空気圧とタイヤトレッドの状態を確認してください。安全性とタイヤの耐用期間を最大限に高めるため、タイヤ圧はさらに頻繁に点検してください。

■ **注記：** タイヤ圧は、タイヤが低温の時にのみ調節してください。

フロントタイヤ： 2.00kg/cm² (ライダーのみの場合)
2.00kg/cm² (タンデムの場合)

リアタイヤ： 2.25kg/cm² (ライダーのみの場合)
2.25kg/cm² (タンデムの場合)

タイヤサイズ：

フロントタイヤ： 120/70-13 59S

リアタイヤ： 150/70-13 64S

以下の指示に従わなかった場合、タイヤの故障による事故が発生する可能性があります。ライダー個人の安全は、スクーターのタイヤの状態に依存しています。

- タイヤの状態とタイヤ圧を確認し、乗車前には毎回空気圧を調整してください。
- 車両に過度な負荷をかけないようにしてください。
- 指定された制限までタイヤが摩耗している時、または切断部や亀裂などの損傷が見つかった場合は、タイヤを交換してください。
- 本取扱説明書に指定されているサイズとタイプのタイヤを常に使用してください。
- タイヤを取り付けたあとには、ホイールのバランスを調整してください。
- タイヤの慣らし走行を行わなかった場合、タイヤがスリップしたり、制御不能に陥る可能性があります。
- 新しいタイヤを取り付けた車両に乗車するときは、地面との間のグリップ力が制限されるため、特に注意してください。
- 新しいタイヤに交換したときは、最初の160 km (100マイル) の間は、過度な加速、激しいコーナリング、強い制動を避けた慣らし運転を実施してください。

保守

タイヤの点検

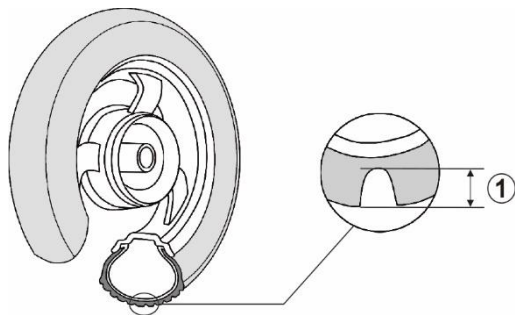
タイヤの摩耗は、タイヤのプロファイルを変化させ、車両の取り扱い特性に影響を及ぼす可能性があります。各乗車前にタイヤの状態を確認してください。トレッド深さが次の制限を下回る場合は、タイヤを交換してください。

最小トレッド深さ：

フロント：0.8 mm (0.03インチ)

リア：0.8 mm (0.03インチ)

■ **注記：**トレッド深さ①を測定してください。目視検査で判断しないようにしてください。



■ **注記：**タイヤのパンクを修理した後は、必ずホイールバランスを調整してください。適切なホイールバランスは、タイヤと地面の間の異常な接触を避け、不均一なタイヤの摩耗を回避するために重要です。

■ **注記：**亀裂または切断部などの損傷が確認できる場合は、タイヤを交換してください。

警告

タイヤを不適切に修理、取り付け、バランス調整を行うと、スクーターの制御を失ったり、タイヤの寿命が短くなったりする可能性があります。

適切な工具と経験が必要であるため、公認のKYMCOディーラー、または認定タイヤショップにタイヤの修理、交換、バランス調整を依頼してください。必ず各タイプの側面に矢印より示される回転方向に従い、タイヤを取り付けてください。

保守

クーラント

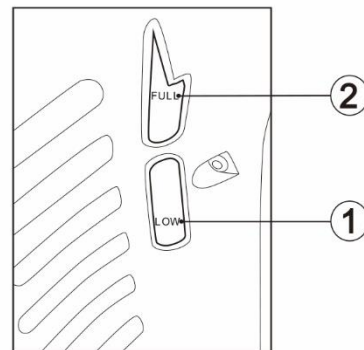
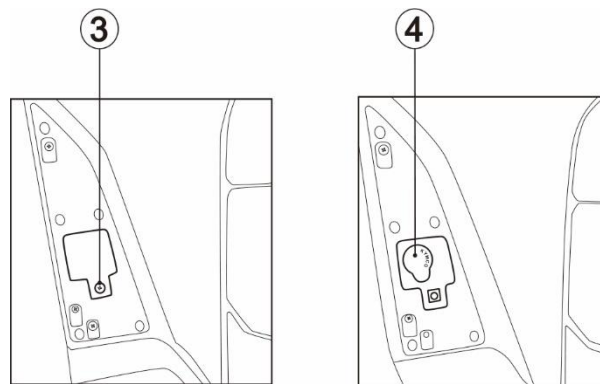
クーラントレベルの点検

クーラントリザーバーは、左側のフットレストの下にあります。エンジンが通常の作動温度になっている時にスクーターを真っすぐに立て、左縁にあるのぞき窓からクーラントレベルを確認してください。

レベルが「低」レベル線①を下回っている場合は、左足マットを取り外し、蓋のネジ③、リザーバーの蓋、リザーバータンクキャップ④を取り外し、「FULL」レベル線②に到達するまで、クーラントを追加してください。

警告

- エンジンクーラントは有害です。
- クーラントはお子様の手の届かないところに保管してください。
- クーラントを飲み込んだ場合は、救急車を呼んでください。
- クーラントが皮膚または目に接触した場合は、十分な水で洗い流してください。



保守

クーラントの交換

クーラントは公認のKYMCOディーラーが交換するようにしてください。

■ **注記**：常に予備タンクのクーラントレベルに注意してください。ラジエーターのキャップを外して、クーラントを追加しようとししないでください。

推奨クーラント

適切な種類の適切な量のクーラントを使用してください。クーラントは良好な状態で、凍結や過熱、腐食を防ぐため、適切な割合の不凍液と蒸留水が含まれている必要があります。腐食防止剤を含み、アルミ合金エンジン用に処方された高品質なエチレングリコール不凍液のみを使用してください。（容器上のラベルを参照してください）

不凍液と蒸留水の**50:50**溶液が必要です。ほとんどの動作温度に適しており、良好な腐食保護能力を有します。

⚠注意

- 不凍液の成分には、低ミネラル飲用水あるいは蒸留水のみを使用してください。
- 水道水を使用すると、エンジンが損傷する可能性があります。
- 気温が低い場合は、より濃度の高い不凍液を使用し、KYMCOディーラーに交換を依頼してください。不凍液の濃度は**60%**を超えないようにしてください。暖かい気候になったら、標準混合比の不凍液に戻してください。
- **40:60**（40%の不凍液）未満の割合の濃度では、適切な腐食防止効果はありません。

⚠警告

エンジンが熱い時にラジエーターキャップを取り外すと、クーラントが飛び出し、やけどをする可能性があります。

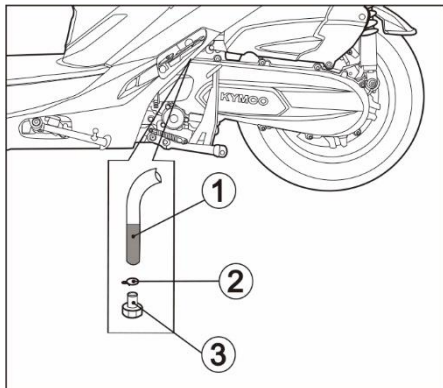
保守

クランクケースブローバイドレイン

エアクリーナーにはドレインチューブ①が搭載されています。これは、クランクケースから濃縮されたオイルを排出するために使用されます。

透明はドレインチューブ内に蓄積する液体が特定の量に達したら、クリップ②とプラグ③を取り外し、液体を容器に排出させ、所定の位置に再取り付けしてください。

■ **注記：** 頻繁に雨の中で乗車した場合、頻繁にフルスロットルで運転する場合、車両が転倒した場合は、頻繁に排出させてください。オイル廃棄規制を遵守してください。



フロントスクリーンとプラスチック製部品を清掃する

傷を防止するため、フロントスクリーンを清掃するときは、水と柔らかい布またはスポンジを使用してください。プラスチック製部品を清掃するときは、柔らかく清潔な布を使用してください。洗剤または化学クリーナーを使用しないようにしてください。

汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤をスポンジに染み込ませて清掃し、大量の水で洗い流してください。すべての洗剤を洗い流してください。洗剤が残留すると、亀裂や塗装の色落ちが発生する可能性があります。

⚠️ 注意

- ガソリン、シンナーなどの有機溶剤を使用しないようにしてください。
- フロントスクリーンや他のプラスチック製部品を清掃するときは、中性洗剤を使用してください。
- フロントスクリーンの傷が酷い場合は、より良い視野が得られるよう、フロントスクリーンを交換してください。

保守

保管

長期間保管した後、良い状態で使用できるように、必要な手順を実施してください。

- 保管前に必要な定期メンテナンスまたは修理を実施してください。
- エンジンを暖機運転した後、新しいオイルに交換してください。
- エンジンが停止するまで、アイドリング状態で稼働させ、燃料タンクが空であることを確認してください。
- バッテリーを取り外し、直射日光がなく、凍結温度にならない場所に保管してください。1か月に一度、ゆっくりと充電してください。
- 車両を洗浄し、完全に乾燥させてください。
- 未塗装の金属に腐食防止剤を塗布してください。
- すべてのタイヤを定格圧力に設定し、スタンドを立て、タイヤが地面に接しないようにしてください。
- 車両を覆い、屋内の乾燥した場所に保管してください。

保管状態からの取り出し

- 車両からカバーを外してください。
- バッテリーの電圧を確認し、必要に応じて充電し、車両に取り付けてください。
- フュエルタンクにガソリンを給油してください。
- 「乗車前の点検」のセクションに記載されるすべてのポイントを確認してください。

警告

- ガソリンは容易に燃焼および爆発します。注意散漫な状態でガソリンを給油するとやけどを負い、重傷につながる可能性があります。
- エンジンを停止し、熱源、火花、裸火などから遠ざけてください。
- ガソリンの給油は屋外で実施し、漏れた場合が直ちに拭き取ってください。

排出制御

クランクケース排ガス浄化システム

このオートバイには、クローズドクランクケースシステムが装備されています。ブローバイガスは、吸気システムを介して燃焼室にリサイクルされます。この調整により、ブローバイガスが大気中に拡散されるのを防止できます。

排気ガス浄化システム

オートバイからの排気放射は、燃焼管理、燃料供給、イグニッション設定、排気システムにより制御されます。また、排気システムはマフラーに触媒コンバーターが搭載されています。

蒸発ガス浄化システム

蒸発ガス浄化システムは、ガソリン蒸気が燃料タンクや燃料システムから大気中に逃げるのを防止するために使用されます。

ノイズ排出浄化システム

オートバイのエンジン、吸気および排気システムは、連邦騒音規制または地域の騒音規制に準拠するように設計されています。吸気システムまたは排気システムを変更しないようにしてください。これは、騒音規制に反する行為です。



元の工場出荷時の設計または設定を適用しないようにしてください。これにより、騒音または排出レベルが悪化する場合があります。

仕様 (X-TOWN CT125)

寸法

全長	2200 mm
全幅	810 mm
全高	1320/1120/1185mm
ホイールベース	1500 mm

容量

エンジンオイル (交換)	1.0 L
トランスミッションオイル (交換)	0.12 L
ガソリンタンク	10.5 L
車両重量	179kg

エンジン

タイプ	4ストローク、液冷式SOHC
排気量	125cc
ボア&ストローク	54 X 54.5 mm
圧縮比	11.7 : 1
最大馬力	9.5KW/9000rpm
最大トルク	11.0Nm/6500rpm
スパークプラグ	CPR7EA-9
アイドリング速度	1750±100rpm
燃料システム	燃料噴射
イグニッションシステム	ECU (フルトランジスター)
起動システム	電気スターターモーター

筐体

タイヤサイズ、フロント	120/70-13
タイヤサイズ、リア	150/70-13
ブレーキ (フロント)	CBS
ブレーキ (リア)	CBS

電気関係

イグニッションタイプ .. 誘電イグニッションコイル	
バッテリー	12V10Ah
ヘッドライト	12V 16W/32W
尾灯	13.5V/3.5W
ブレーキライト	13.5V/10.8W
ウインカーライト	フロント : 12V 2.6W リア : 12V 2.16W
メインおよびH/Lビームヒューズ	15A
ECU、イグニッション、ファン用ヒューズ	10A
充電ヒューズ	30A

仕様 (X-TOWN CT250)

寸法

全長	2200 mm
全幅	810 mm
全高	1320 mm
ホイールベース	1500 mm

容量

エンジンオイル (交換)	0.9 L
トランスミッションオイル (交換)	0.18 L
燃料タンク	10.5 L
車両重量	194kg

エンジン

タイプ	4ストローク、液冷式SOHC
排水	249cc
ボア&ストローク	72.7 X 60 mm
圧縮比	10.08 : 1
最大馬力	14.94KW/7500rpm
最大トルク	21.1Nm/6500rpm
スパークプラグ	DPR6EA-9
アイドリング速度	1600±100rpm
燃料システム	燃料噴射
イグニッションシステム	ECU (フルトランジスター)
起動システム	電気スターターモーター

筐体

タイヤのサイズ、フロント	120/70-13
タイヤサイズ、リア	150/70-13
ブレーキ (フロント)	ABS
ブレーキ (リア)	ABS

電気関係

イグニッションタイプ .. 誘電イグニッションコイル	
バッテリー	12V10Ah
ヘッドライト	12V 16W/32W
尾灯	13.5V/3.5W
ブレーキライト	13.5V/10.8W
ウインカーライト	フロント : 12V 2.6W リア : 12V 2.16W
メインおよびH/Lビームヒューズ	15A
ECU、イグニッション、ファン用ヒューズ	10A
充電ヒューズ	30A
ABSモーターヒューズ	25A

仕様 (X-TOWN CT300)

寸法

全長	2200 mm
全幅	810 mm
全高	1320 mm
ホイールベース	1500 mm

容量

エンジンオイル (交換)	0.9 L
トランスミッションオイル (交換)	0.18 L
燃料タンク	10.5 L
車両重量	198kg

エンジン

タイプ	4ストローク、液冷式SOHC
排水	276cc
ボア&ストローク	72.7 X 66.4 mm
圧縮比	10.6 : 1
最大馬力	16.8KW/7500rpm
最大トルク	24.0Nm/6500rpm
スパークプラグ	DPR6EA-9
アイドリング速度	1700±100rpm
燃料システム	燃料噴射
イグニッションシステム	ECU (フルトランジスター)
起動システム	電気スターターモーター

筐体

タイヤのサイズ、フロント	120/70-13
タイヤサイズ、リア	150/70-13
ブレーキ (フロント)	ABS
ブレーキ (リア)	ABS

電気関係

イグニッションタイプ .. 誘電イグニッションコイル	
バッテリー	12V10Ah
ヘッドライト	12V 16W/32W
尾灯	13.5V/3.5W
ブレーキライト	13.5V/10.8W
ウインカーライト	フロント : 12V 2.6W リア : 12V 2.16W
メインおよびH/Lビームヒューズ	15A
ECU、イグニッション、ファン用ヒューズ	10A
充電ヒューズ	30A
ABSモーターヒューズ	25A